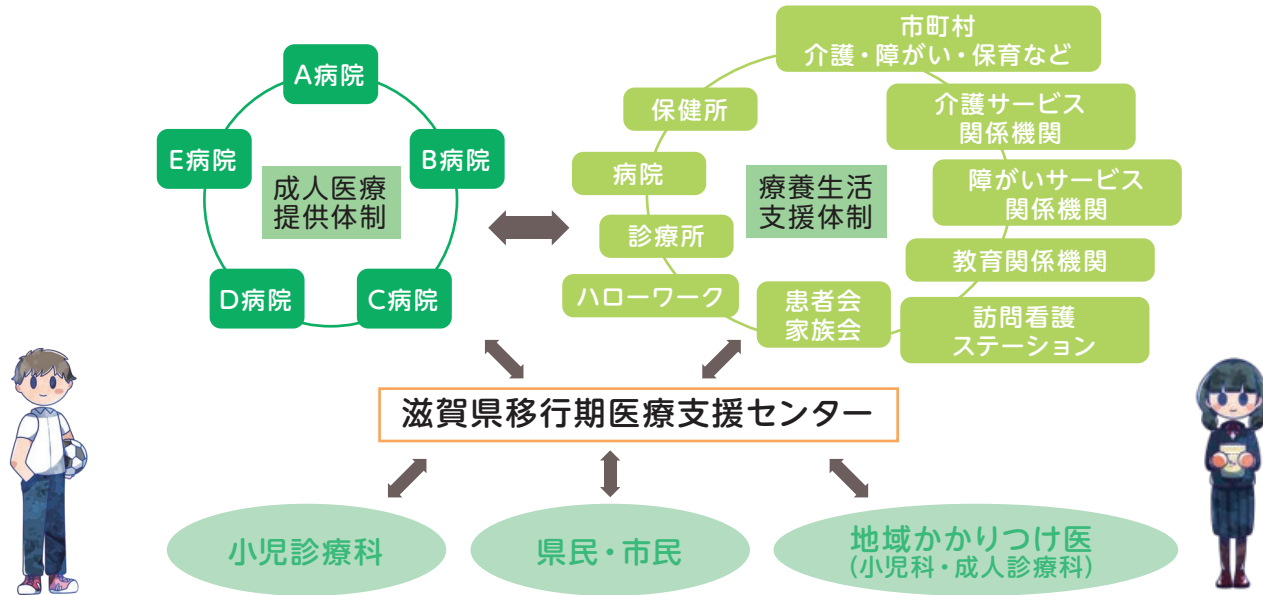


滋賀県移行期医療支援センター構想



こどもから大人への一歩 ～これから大人になっていくあなたへ～



滋賀県移行期医療支援センターでは、小児科から成人診療科への橋渡しをお手伝いします。話を聞いてみたいという方は、まずは主治医へご相談ください。

取り組んでいくこと

医療機関だけでなく様々な機関と連携して、患者さんの成人移行支援を行います。移行をする年齢や診療のスタイルは患者さんの状況によって様々です。身体・疾患のこと、考えや思いを聞かせてもらいながら、患者さんを真ん中に、最もよいと思われるかたちを一緒に探していきます。

〒520-2192
滋賀県大津市瀬田月輪町
(滋賀医科大学医学部附属病院 医事課内)

滋賀県移行期医療支援センター

Tel: 077-548-3401
Mail: ikouki@belle.shiga-med.ac.jp



センターの機能

- (1) 移行期医療の提供に必要な医療機関の情報収集および公表
- (2) 移行期医療支援に関する周知・啓発
- (3) 移行期医療に関する現状・課題の把握、その改善策の検討
- (4) 移行期医療支援体制整備に向けた研修会および検討会等の開催
- (5) 小児診療科と成人診療科の連絡調整、連携の支援
- (6) 小児慢性特定疾病児童等やその家族からの相談対応
- (7) その他、本事業の目的を達成するために必要な事業

こんな思いやご心配はありませんか？

いつまで小児科で診てもらえるのかな？

もう成人しているけど、小児科以外の通院はなくて良いの？

子どもが大人になったとき、どこに通院するのかな？

保護者がいなくても、本人の力で受診できるようになってほしい など

滋賀県移行期医療支援センター

移行の準備をしましょう

子どもから大人へ成長することで、子どものときとは違う治療や健康管理が必要になることがあります。このように健康を維持するために必要な医療や福祉などが大人へ移り変わるための計画的なプロセスを「移行」といいます。その支援を「成人移行支援」といいます。

－自律・自立に向けて－

自律・自立は診断されたときから将来を見据えて意識することが大切と言われます。自分で治療の決定や生活の管理ができるよう、病気や治療について学びます。

－小児医療から成人医療へ－

病気や生活が安定するときに、成人医療へ移る準備を進めていきます。成人の診療スタイルや医療システムを学びます。

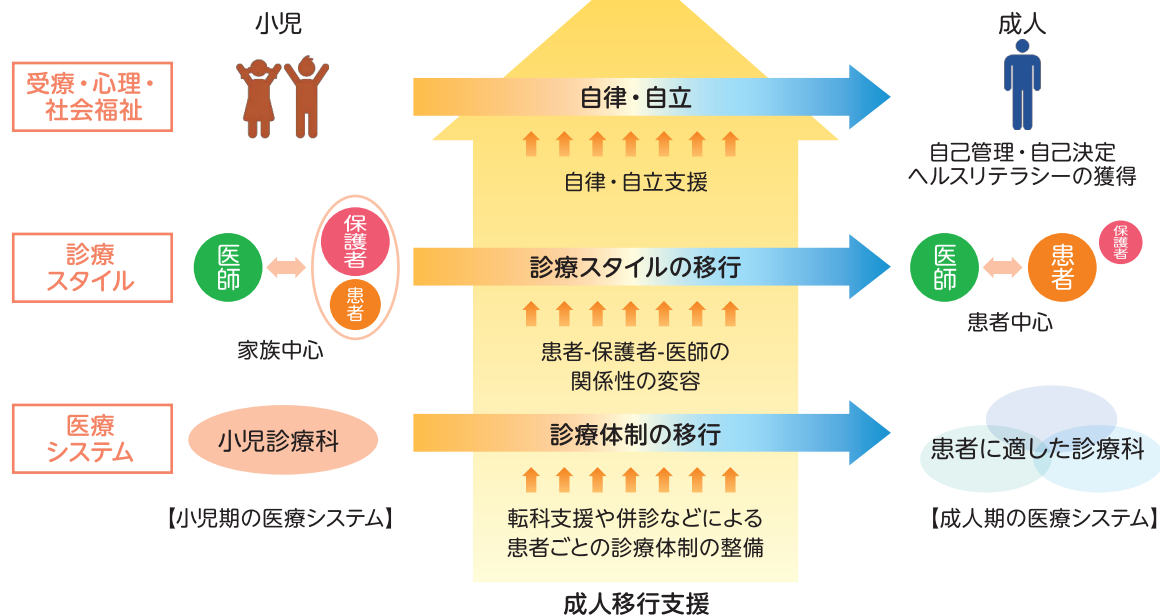
－保護者の方へ－

お子さまが自律・自立するためには、ご家族のご協力が必須です。お子さまの自律・自立を見守り、必要なときに支えてください。



成人移行支援の概念図

適切に必要な医療を切れ目なく提供する
その人らしい生活を送れるようにする



日本小児科学会HP 移行支援に関する提言作成ワーキンググループ「小児期発症慢性疾患の有する患者の成人移行支援を推進するための提言」

トランジション（移行）は「小児期発症の慢性疾患を持つ患者が小児を対象としたヘルスケアから成人を対象とするヘルスケアへ切れ目なく移る計画的・継続的・包括的な患者中心のプロセス」を意味し、3本の横矢印で示した①自律・自立、②診療スタイルの移行、③診療体制の移行が柱となる。

成人移行支援はトランジションのための支援で、適切に必要な医療を切れ目なく提供することやその人らしい生活を送れることを目的とし、自律・自立支援、転科支援や併診などによる診療体制の整備が含まれる。

自律・自立支援には、自己管理・自己決定・ヘルスリテラシー獲得のための支援や、就学・就労支援が含まれる。

